

「見える」安全活動の取組み事例紹介

安全の家の設置と活用について！ ～協力会社とのコミュニケーション活動～

当所では、所員一人一人が安全の目指すべき姿をイメージできるように、安全衛生活動や現状のしくみを再評価したうえで、「前向き」かつ「主体的」な安全衛生活動の推進により、安全文化が醸成された職場の形成に向けて鋭意取り組んできました。

～取組みの方向性～

- ☞ 協力会社と本音のコミュニケーションを図るため、型にとらわれない有効なコミュニケーションスペースを所内に設置する。
- ☞ 安全に関する情報が共有でき、コミュニケーションが自然発生するような各種ツールを備え付ける。

背景

社員から提起された課題

- ・当社から協力会社へ安全情報を発信したが、その後のフォローが不十分。
- ・良好なコミュニケーションが「自然発生」し、活発な情報交換ができるような共用スペースが必要。



所内に、安全に関する情報を集約した、コミュニケーションスペースを整備する。

◆コミュニケーションスペース「安全の家」の概念

- ・当所および協力会社との、安全に関するコミュニケーションの場とする。
- ・災害事例や安全ツールを協力会社にも提供していただき、安全に関する取組みを共有する。
- ・労働災害の撲滅に向けて、共にチャレンジし、連帯意識を高められるよう、積極的に活用する。

◆「安全の家」の整備内容

※各種掲示物は安全事務局が定期的に更新しています。

○データベースコーナー

- ・当社災害速報
- ・今月の安全講話、安全提言
- ・協力会社とのコミュニケーション実績
- ・ハットヒヤリ事例

○安全衛生図書

- ・なくそう！墜落・転落・転倒
- ・安全衛生法令早見表
- ・安全法令ダイジェスト
- ・危険予知活動トレーナ必携
- ・短時間KYTイラストシート集

○協力会社提供資料

- 危険予知シート
- 過去の重大災害発生状況
- 安全パトロール結果

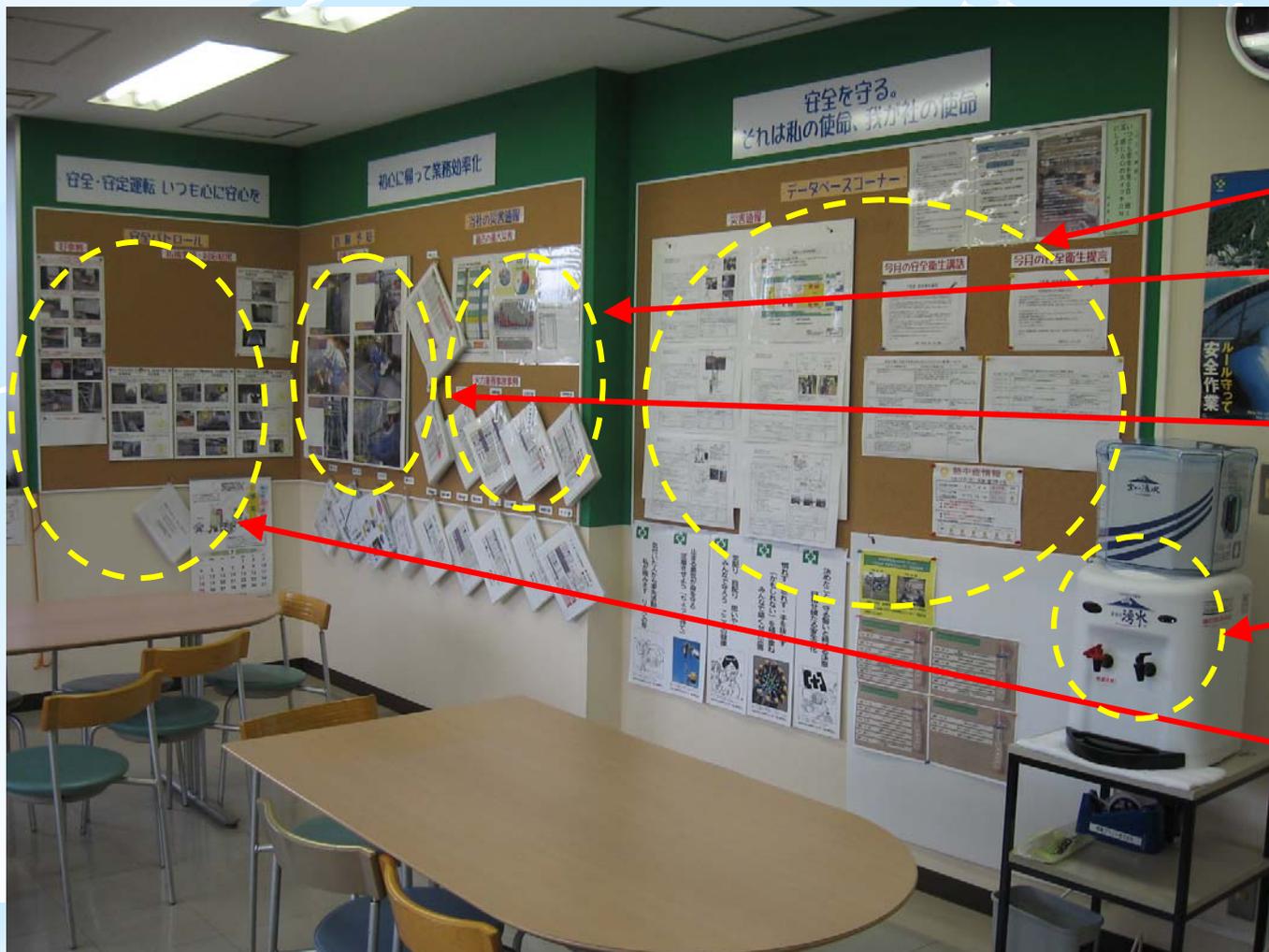
○映像コーナー(DVDライブラリー)

- ・安全衛生ビデオ

○飲み物コーナー

- ・ミネラルウォーター

安全の家 全体



< 掲示物 >

- ・データベースコーナー
- ・過去の重大災害発生状況
- ・危険予知シート
- ・飲み物コーナー
- ・安全パトロールの結果
(指摘事項、好事例など)

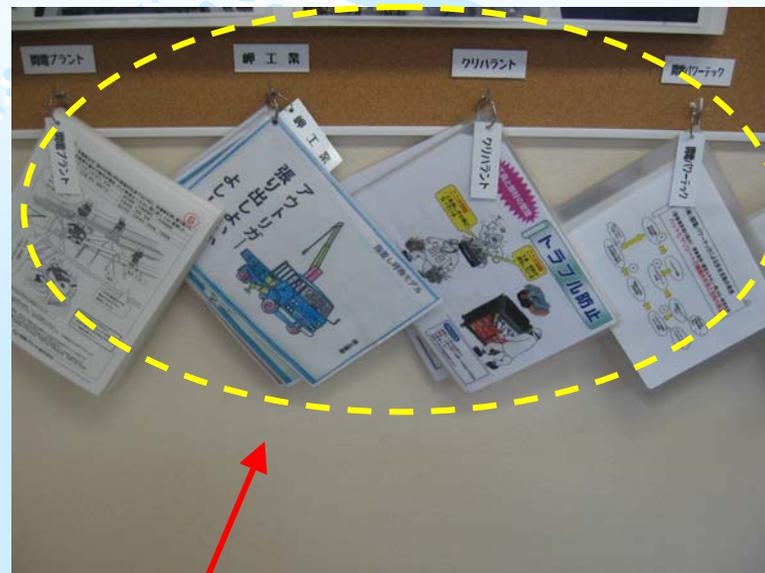
データベースコーナー



<掲示物>

- ・当社の至近の災害速報
- ・今月の安全講話、安全提言
- ・協力会社とのコミュニケーション実績
- ・ハットヒヤリ事例
- ・熱中症情報(夏季限定)

その他の掲示物



< 掲示物 >

- ・協力会社提供、災害事例集他
- ・重大災害発生状況
- ・危険予知シート

※構内の作業現場の写真を基に作成しています。
次ページに代表例がありますのでご覧下さい。

重大災害項目

①重量物運搬時の玉掛作業

どんな危険が
ありますか？

あなたがこれから作業を行う
この場面での危険ポイントを出し合ってください。

合図者が作業を助勢している

●玉掛指揮者は
補助者を決める

○素線が手指に刺さる。
○切れて荷物が落下する。

事前にワイヤー
を点検する

クレーン旋回半径内を通行する人が怪我をする

安全通路確保

重心がズれて
片吊り(落下)

地切り時に
止めて点検

ワイヤーの絞り込み不足で落下

ワイヤーと固定金具で指を詰る

玉掛作業中にレバーに手を置いており操作ミスで怪我をする

必要時以外
触らない

重心確認の位置が悪く吊上げ時に荷崩れを起こし怪我をする

ワイヤー絞り込み時に指を詰める

クレーン運転時
手指を置かない

ワンポイント



作業前に確認

当社の過去災害は、重量物の玉掛け時に「重心」（吊天位置）のズレにより、吊荷が振れて身体および手指等が挟まれ被災するケースが多く、またズレを確認し、そのズレを修正するため強引にゆすった結果、吊荷が外れ被災している。

★★安全ポイント★★ 吊り揚げ時の地切りは慎重に、重心ズレ、片吊りはないか確認する。
作業中、不安全な状況発生により、作業中断を全員で確認する。

関係法令

○クレーン等安全規則 第3章 移動式クレーン 第8章 玉掛け

参考 労働安全衛生法の規定により、つり上げ荷重が1トン以上のクレーン、移動式クレーンの玉掛け作業は、都道府県労働局長に登録する機関が行う技能講習を修了した者でなければならない。

【ユニック車での資格】	運転手	玉掛け者
500kg 未満	資格不要	資格不要
1 ton 未満	運転の特別教育	玉掛けの特別教育
3 ton 未満	小型移動式クレーン運転技能講習	玉掛け技能講習修了証
5 ton 以上	移動式クレーン運転士免許	玉掛け技能講習修了証



安全を守る。それは私の使命。 今日も1日 御安全に！！

安パト結果



- ・指摘事項(改善状況)、好事例などを掲示

図書、映像ライブラリー



- ・安全衛生関係図書
- ・ビデオ(DVD)の視聴

活用状況

- ・社員、協力会社を含めた関係者全員の、安全に関する自主学習の場として活用。
- ・協力会社との安全に関するコミュニケーションの場として活用。

(状況)



- ・新規入構者の教育実施場所を、会議室から「安全の家」へ変更。